



国鉄労働組合
東海エリア本部

東京都区新橋5-15-5
交通ビル7階
発行責任者 植田 誠
編集責任者 寺崎 浩

春闘の闘いから組織拡大へ弾みを

東海本部 第42回拡大委員会を開く

東海本部は2月6日、東京・大崎の南部労政会館でコロナ感染症に対する感染防止対策を取りながら対面形式により、第42回東海本部拡大委員会を開催しました。

冒頭、木村智之副委員長から開会のあいさつが行われ、池田

執行委員による資格審査・委員会成立宣言の後、議長に名古屋地本の浜島由紀夫委員を選出し、議事に入りました。

東海本部植田執行委員長のあいさつ(要旨を左欄に掲載)に続き、国労本部の木村忠義副委員長から来賓あいさつを受けた

後、高木業務部長から協約・協定の締結承認、渡邊書記長から経過報告と当面する闘争方針案が提起されました。

昼食休憩後に、機関紙「国労東海」の新春クイズの正解者から抽選により5人の当選者を選んだ後、東海本部の赤松執行委



東海本部第42回拡大委員会は、春闘勝利に向け植田委員長の「団結がんばろう」で終了した

員が、中央本部主催で昨年実施された「フクシマ交流学习会」に参加した内容を報告しました。闘争方針案に対する討論(発

言の要旨を2面に掲載)では、桐生勝(新幹線)・山田多佳男(名古屋)・小川敏広(静岡)・永田晴茂(新幹線)・柴田智(新幹線)・宮坂務(静岡)・西里重則(新幹線)の各委員から、要員・安全問題、集中旅客サービス導入問題、出向先会社の労働条件、コロナに対する賃金補償、組織の現状と機関運営の在り方、春闘に対する取り組み等の発言を受けて、高木業務部長による答弁と渡邊書記長の集約(2面に掲載)後、全体で「当面する闘争方針」を承認し、「委員会宣言」承認、春闘勝利に向けた植田委員長の「団結がんばろう」で閉会しました。

植田委員長あいさつ (要旨)

今委員会の大きな課題である組織強化・拡大の取り組みについては、不退転の決意で職場・分会・地本・エリアが一体となって、国労運動のすべての基盤である組織強化・拡大に向け全力をあげます。

2023年春闘については、定期昇給の完全実施と併せて平均賃金の4・8%相当額、13,000円を基本とする統一要求を提起します。夏季手当では、安定的支給ベースと生活補填分、業績回復・コロナ対応分とし、3・2ヵ月分を求めます。JR東海は、第3四半期決算で純利益は1,806億円となり、要求には応えられる経営状況と考えます。安全・仕事総点検運動・春闘職場三大要求運動を基軸とし、改善を目指す行動を展開したいと思います。

JR東海においては「業務改革」の名のもとに、ワンマン運転の拡大・集中旅客サービスシステムの導入による駅無人化の拡大等を実施するとしています。安全・安定輸送やサービス、社員の労働条件などが守られ、さらに向上が図られるのか、労働者・利用者目線での検証が必要で、各地方本部と連携しながら取り組みを強化します。

JRの赤字や地方交通線、貨物関係の様々な問題は、今後、他のエリア・本部と連携し、議論を深める中で、地域の皆さん・自治体等との取り組み強化や関係各省への要請等も視野に入れた運動が重要であると考えます。

岸田政権は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や台湾有事などで国民の危機意識をあおり、防衛費の増額を目論み財源を確保するための特別措置法案を閣議決定しました。平和の課題は戦後日本の労働組合運動の原点です。「戦争する国づくりを許すな」との世論や運動を広げること今春闘の課題となっています。

今年は統一地方選挙の年です。自公政権にストップをかけるためにも、地方から声をあげ勝利しなければなりません。

2023年春闘の闘いから、組織拡大の取り組みに弾みをつけ、次期定期大会まで全力を挙げて闘う決意です。

家族の幸せを災害から守る

火災共済 ⊕ オプション保障

火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209

交通共済 ニューズ

類焼損害保障



個人賠償保障



借家人賠償保障
+ 修理費用



※借家にお住まいの方のみ

オプション保障(類焼損害費用保障、個人賠償責任保障、借家人賠償責任保障+修理費用)は、共済火災海上保険株式会社引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード
交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

書集記約長

要旨

ウイズ・コロナ4年目となり

りこの間厳しい状況が続いていますが、23春闘は全組合員で他労組も巻き込んだ運動が出来るように、東海本部内での春闘統一行動に参加をお願いしたい。

物価上昇が半端でない状況で、われわれの生計費は上がりこそすれ、下がっていない。23春闘は、われわれ労働者の生活の実態を会社に突きつけ要求額満額獲得へ向け闘っていきましょう。

「業務改革」については各地方にて施策毎の提案があり、各地方本部での交渉が重要になってきます。各地方と連携を今ま

で以上に密にして、利用者が安全・安心してご利用できるように取り組みを強化していきます。地方交通線に対する問題ですが、国交省、政党、国会議員要請を本部と共に東海本部としても、協力して取り組みたいと考えています。

組織拡大の基礎は職場でどれだけ国労組合員が行動するか。重要で、「まず一人の拡大を職場全体で」を合言葉としての取り組み強化が求められています。昨年、東海本部はホームページのリニューアルを行いスマホでの閲覧が可能となり、組合員

はもとより他労組にもわかりやすい情報の発信を展開していきます。

委員から高年齢化に伴う組織運営やコロナ禍での運動の停滞、今後の組織の在り方について発言がありました。国労本部での議論を見ながら東海本部執行部としても、組織の在り方について

お年玉パズル当選者

新年号(第463号)の「お年玉パズル」の正解は「ユキダルマ」でした。応募者・正解者18人の中から第42回東海本部委員会抽選の結果、以下の5人が当選しました。(順不同、敬称略)

岩田 朋之 名古屋地本・東海交通機械
名古屋事業所出向
小俣 博義 新幹線地本・東京保線所
大橋 弘一 名古屋地本・岐阜保線区
渡辺 幸子 (渡辺信康さん家族)
佐々木 顕 新幹線地本・東京駅分會
新幹線地本・東京保線所

本委員会終了後に各地方の代表を招集し地方における問題点を丁寧・慎重に議論を進めていきたいと考えています。

「戦争放棄」を明記した憲法

9条により、今日まで平和が守られています。憲法改悪を許さない国民的闘いに全力を上げるとともに、防衛費増額反対など世論を巻き込んだ運動を大きくしなければならぬと考えています。「平和と民主主義」を守るために、市民と野党の共同の輪を大きくし、4月の統一地方選挙で、国民本位の政治を取り戻していかなければなりません。国労東海本部はみなさんの先頭に立ち闘う決意を表明し、書記長集約とします。ともにがんばりましょう。

委員の発言(要旨)

(順不同・敬称略)

桐生勝(新幹線地本)

車両所、臨時列車等への対応で人が足らず、応援を頼んでいる状態。組合員は現職が2人しかいない、専任満了となる社員が9人。組織拡大にむけて若い社員とは交流しているが拡大につながっていない。分会として、一人一行動を取り組んで行きたい。

山田多佳男(名古屋地本)

組合員が1人しかいない駅が増え職場点検や要求集約が難しくなっている。駅の特定の出入口窓口に集中旅客サービスシステムを導入することで、苦情等で

いる。組織拡大

が取り組んでいる。組合員は現職が2人しかいない、専任満了となる社員が9人。組織拡大にむけて若い社員とは交流しているが拡大につながっていない。分会として、一人一行動を取り組んで行きたい。

永田晴茂(新幹線地本)

3年前に、電力と通信が統合され電気技術センターとなったが、業務は今でも別々に行っている。何のために統合したのか疑問。

柴田智(新幹線地本)

分会全員が新生テクノスに出向で、組織拡大は厳しい。テクノス、忙しい時と暇な時の差が大きく、サービス労働もあり若い人の離職率が高いように感じる。人手不足を感じる。

小川敏弘(静岡地本)

運動事故を起こした社員が、日勤勤務になった後に転勤させられて

がん保険にできることを、もっと。

No.1 アフラックがん保険 がん保険 がん保険 がん保険

NEW
「生きる」を創る
がん保険
WINGS



1 幅広い保障で
経済的負担をサポート
治療前の検査から治療後の外傷ケアまで
幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 がんサービス・アフラックのよりそうがん相談サポート(※1)
(2023年1月23日サービス提供開始予定)
アフラックのよりそうがん相談サポーターが
さまざまな悩みの解決をサポート
「がんかもしれない」と思ったときから
専門知識を持つ相談員が最前線にお応えします。

(※1)アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。
サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(https://www.afac.co.jp/keliyaku/gansoudansupport.html)をご覧ください。

(募集代理店) アフラックは代理店制度を採用しています
アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5
交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

(引継保険会社)
「生きる」を創る。
アフラック
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1
丸の内センタービル15階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885